

嘉麻市社協だより

えがお

わいわい楽しく
そうめん流し

～漆生南部ふれあい・
いきいきサロン～



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

No.
66

発行日 2011.8.1

命ある限り、伝えたいこと

聞かせて・教えて
あなたの思い

ヴォイス
Voice
No.16

阿部敏之さんは、8年前に離婚し、中学1年生の長男と小学校6年生の次男を両親とともに育ててきました。しかし、昨年3月にすい臓がんが見つかり、手術や治療を行いました。今年3月、がんが全身に転移していることが判明し、医者から余命半年であることを宣告されました。残された人生で自分ができることを考え、現在は、子育ての体験や命の大切さを多くの人に伝えたいと講演活動を行っています。

そこで、今回のvoiceでは、阿部さんが伝えたいことや子育てへの思いについて話を伺いました。



福津市在住
阿部敏之さん
(38歳)

●現在の活動は

3月11日に起きた東日本大震災でたくさんの方が子どもを残して亡くなられました。津波などで一瞬にして命を失った方の無念さを思うと、いま生きている私には、できることがあると実感し、講演をするようになりました。現在は、県内だけでなく県外にも出向き、子どもと向き合うことや夢、目標を持つこととの大切さ、闘病体験などについて話しています。講演を通じていろいろな方と出会い、とても充実した時間を過ごしているだけでなく、聞いてくださった方々の励ましの言葉や拍手が、生きるパワーとなっています。

●子育てする中で、子どもたちへ伝えたいことは

結婚していた頃は、仕事だけに熱中し、子育ては妻任せで、子どもと向きあうことはほとんどありませんでした。

そして、離婚という結果をまねいてしまい、子どもたちには辛い思いをさせてしまったことを申し訳なく思っています。

実際に子育てを始めてから、子どもと過ごす時間を大切にしようになりました。今は、夢や目標を実現させる喜びを教えたいと思い、親子で2025年までに達成する目標を掲げています。そのため、平日は、毎朝5時から、親子で朝の会を開き、英語の勉強や野球のトレーニング、朝食作りなど曜日ごとに細かく決めたスケジュールに従い、過ごしています。また、その中で「ありがとうございます」と10回唱えて感謝の気持ちを作らせたり、テキストを作り、食育や生活態度についても、息子2人と真正面から向き合って話をします。

●子育て中の方へメッセージをお願いします

離婚してしばらくは、母親

の代わりにしようとして一生懸命でした。しかし、代わりにはなれないことがわかり、父親として自然に接するようになる、気持ちが楽になりました。子育ては無理をしないことが大切だと思います。そして、忙しいとは思いますが、10分でもいいので、お父さんもお母さんも子どもと真正面から向き合う時間を作ってほしいですね。その時間が、子どもにとって大きな安心につながると思います。また、親子で一緒に目標を作り、それを実現する喜びを伝えてあげてください。私の長男の夢は、メジャーリーグ入り、次男は、ソフトバンクホークス入団です。息子たちに病状を伝えるとき、長男から「俺がメジャーリーグに入るまで、絶対に生きて」と言われました。私は、生き続けて、子どもたちが目標を達成したのを見届けようと思っています。

義援金をお寄せいただき、ありがとうございます。

東日本大震災の復興のために、義援金をお寄せいただいています。

誠にありがとうございます。

(6月11日～7月10日受付分)

社会福祉法人愛光会様 株式会社トモス ミュゼドモーツアルト様 尾浦第二行政区様 芥田行政区様
スイミングプラザなつき利用者一同様

※順不同で掲載しております。

<募金箱を通じて>

嘉麻市嘉穂庁舎様 嘉麻市稲築住民センター

※6月30日までに受け付けた義援金につきましては、中央共同募金会に送金いたしました。

災害への備えを 改めて実感

「災害発生後、社協に求められる役割とは」をテーマに7月12日(火)、役員等研修会を夢サイトかほにおいて開催し、本会の役員、評議員など23名が参加しました。

この研修会は、いつ起こるか分からない災害に備える社協が運営する災害ボランティアセンターの役割や組織として必要な取り組みについて考えるため、東日本大震災の支援活動をされている末岡信さん(日本防炎士会久留米支部長)を講師にお呼びしました。

末岡さんは、4月から3回に渡り、岩手県で災害ボランティアセンターの立ち上げや運営支援を行っており、その時の様子をスライドを使って、わかりやすく説明されました。

映し出されたのは、崩壊した建物やひび割れた道路、積み重なったがれきなど、どれも今回の災害の凄まじさを物語るものばかりでした。

また、末岡さんは、これまでの活動を通じて、被害を最小限に抑えるためには、市民の防災意識を高める必要があることや、地域住民

同士のつながりが大切であることを強調されました。

参加された方からは、「日頃から防災への心がけが必要だと感じた。」や「災害ボランティアセンターの役割や大変さがわかった。」という感想が聞かれ、災害への備えの大切さを改めて実感した研修会となりました。

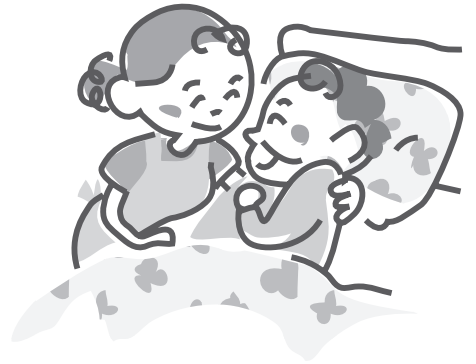


在宅で介護を続けるために

在宅での介護を長く続けていくためには、介護者の方が常に心身のリフレッシュを図ることが大切です。そこで今回、普段の生活の中で短時間でできるリフレッシュの方法や介護を上手に続けるポイントなどの講習会を下記により開催いたします。

講話終了後は、情報交換や講師の方からのアドバイスの時間もありますので、お気軽にご参加ください。

- 日 時** 平成23年9月27日(火) 午前10時～正午
- 内 容** ・身体を動かして気分をリフレッシュ
・講話「在宅介護を続けるポイントは？」
・参加者同士の情報交換、講師によるアドバイス
- 講 師** 福岡県地域介護実習・普及センター職員
- 会 場** 山田ふれあいハウス会議室(上山田502番地6)
- 参加対象** 在宅での介護をされている方、介護に関心のある方
- 参加費** 無料
- 申込み締切** 9月20日(火)
- お問い合わせ、お申し込み先**



嘉麻市社会福祉協議会

電 話 0948-42-0751 F A X 0948-83-8005

メール tiiki@kama.syakyo.com

研修会で広がる支えあいの輪

6月23日(木)、碓井千歳会館において、地域支えあい事業の協力会員研修会を開催しました。

今回は、最近相談が増えている住まいの補修技術を学び、活動の幅を広げようと実施したもので、当日は協力会員以外の3名を含め11名が参加しました。

講師の社団法人日本DIY協会アドバイザーから

雨どいの補修やメンテナンスの方法、蛇口の水漏れ対策、ドアノブの交換方法などの説明を受けると、みなさんからは、「雨どいを補修する時、どこにはしごをかければ安全ですか。」や「ネジのないドアノブは、どうやって外せばいいですか。」など熱心な質問が出ました。

講師は、その質問に丁寧に答え、「とにかく安全が一番に考えて、作業を楽しむことが大切です。」とアドバイスされました。

その後、実際に蛇口の模型を使って、パッキンの交換作業を行うと、「難しいと思っていたけど、簡単にできた。これなら、自分でやれるね。」という声も聞かれました。

また、この研修会をきっかけに2名の方が協力会員に登録され、支えあいの輪が広がりました。





宮野小学校が県大会で大健闘

7月9日(土)、嘉穂総合体育館で開催された第46回交通安全子ども自転車福岡県大会に、筑豊地区の予選を見事1位と2位で通過した宮野小学校の2チームが出場しました。

く運転する街中を想定した安全走行の実技、午後は、少し難しいレベルのジグザグや細い道の技能走行に挑戦しました。

この大会は、小学生が自転車の安全な乗り方などを競うもので、県内の21小学校から33チーム、132人が出場し、1チーム4人制で1人ずつが順番に競技をします。午前中は、交通ルールを問う学科テストと、普段よ

宮野小学校の児童は、大会の2カ月前から、学校が終わると体育館で毎日、嘉麻警察署交通課の梅崎課長や宮野駐在所の志水巡查長、地域交通安全活動推進委員の方々の指導を受けながらコースを走る練習や学科の勉強に励んできました。

仲間の応援をしながら自分の順番を待つ児童の顔には、緊張とやる気がみなぎっていました。集中力を高



停車中の車を注意しながら追いつきます



線から出ないように慎重に



デコボコ道に挑戦

めてスタートを切ると、スタンドからの力強い声援を受け、カーブやデコボコ道などひとつひとつのコースを慎重に進み、これまでの練習の成果を発揮しました。試合後に話を聞くと、うまくいってほっとしたと喜んだり、失敗してしまったと悔しい気持ちを表したりと、児童の感想は様々でしたが、落ち込む友達に優しく声をかける姿も見られ、

宮野小学校の児童たちは固い絆で結ばれていました。8位と17位という結果に、悔しい。と、後輩にその思いを託していました。

元気をもらったようでした。今大会が最後となった6年生の児童は「また来年きつと頑張ってくれると思います。」と、後輩にその思いを託していました。



競技終了後、共に頑張ってきた仲間たちと

使用済み切手の活用法

これから始めることができるボランティア活動の一つとして、使用済み切手の収集活動があり、現在もたくさんの方にご協力いただいています。

みなさんから寄せられた「使用済み切手」は、収集団体に送り、その活用方法は、団体ごとに様々です。

その一つであるNPO法人誕生日ありがとう運動本部は、届いた切手で古切手セットやしおり、携帯ストラップを作って販売し、福祉活動の啓発資金として役立てています。

身近にできるボランティア活動として、ぜひ、ご参加ください。また、その際は、下記の点にご注意ください。



古切手を使用したしおりとストラップ

- ※封筒やハガキに貼ってある切手を周囲約5ミリ～1センチの余白を残して切ってください。
- ※日本の切手と外国の切手を分けてください。
- ※周りのギザギザがかけたものや破れ、汚れ、折り目のあるものは、活用できません。

ボランティア募集情報

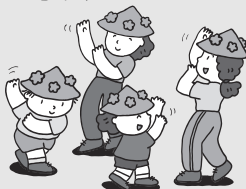
秋祭りのお手伝い ～障がい者支援施設 清浄学園～

日 時 9月17日(土) 17:00～20:30

場 所 清浄学園敷地内(嘉麻市漆生1062-7)

内 容 秋祭りの手伝い
(主にゲーム広場の担当です)

募集人数 10名(16歳以上)
※高校生は保護者の同意が必要です。



子どもたちの自主学習のサポート ～児童養護施設嘉麻学園～

日 時 月曜日～金曜日
17:30～20:00(この中で活動可能な時間)
※夏休み期間中は、10:00～12:00の間も募集しています。

場 所 嘉麻学園内(嘉麻市漆生2347-1)

内 容 自主学習のサポート
(国語の教科書の音読など)

備 考 事前の見学も可能です。

フリーマーケット出店者募集

今年で第4回目となる碓井千歳会館フリーマーケットの出店者を募集します。野菜や花苗、手作り雑貨、自宅に眠っている不用品などを出品してみませんか。初めての方でも大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせください。

- 日時** 平成23年10月16日(日)午前10時～午後2時
- 会場** 碓井千歳会館駐車場(雨天の場合は、館内にて実施)
- 募集店数** 13店(先着順で、定数になり次第、締め切ります)
- 出店料** 500円
- 申込方法** 出店申込用紙は、碓井千歳会館と山田ふれあいハウスに用意しています。必要事項を記入のうえ、いずれかの施設にご提出ください。(申込時に印鑑が必要です。)



昨年開催したフリーマーケットの様子

- 申込期間** 8月1日(月)～9月2日(金)8時30分～17時(土・日を除く)
- 出店できる方** 18歳以上の方(高校生は除く)※営利目的の出店はできません。
- 出店できるもの** 野菜、花の苗、陶芸品、手芸品、小物、家庭の不用品など
- 出店できないもの** 飲食品類(たばこ、酒類を含む)、薬品類、生き物(動物、昆虫類)、違法コピー商品、金券類、危険物(石油、ガス、模造刀、モデルガン、ナイフ、包丁等)、社会通念上不適当と思われるもの及び法律上販売できないもの

お問い合わせ	碓井千歳会館	下臼井1050番地19	TEL0948-62-3538
	山田ふれあいハウス	上山田502番地6	TEL0948-52-1847

「読めば答えが見えるかも」 社協だよりクイズ?

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

- ホットニュースのコーナーで紹介した第46回交通安全ごっこも自転車福岡県大会の会場はどこだったでしょうか?
- (1) 山田サルビアパーク
 - (2) 稲築体育館
 - (3) 嘉穂総合体育館

◆応募方法

- ①クイズの答え、②広報紙の感想、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、8月31日(必着)までにハガキ、または、Eメールでご応募ください。

◆送付先

〒820-0205
嘉麻市岩崎1-143番地3
嘉麻市社会福祉協議会
tiki@kana.syakyu.com

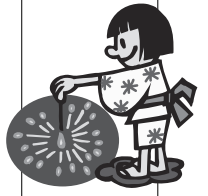
◆前号のクイズの答え(2)

ホットニュースで、Tシャツの草木染めに使った材料は、たまねぎの皮でした。ご応募いただいた方からの社協だよりの感想をいくつか紹介します。

- ・地域のホットニュースを楽しみにしています。
- ・喜らしたこと、ボランティアのことがたくさん載っていてとてもビックリしました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

6月1日～6月30日受付分

【中山田上】

親族 故 平塚 芳美
故 塚 信義

【中山田下】

親族 故 浅田 スキ子
故 田 勉

【中山田下】

親族 故 高木 幸重
故 木 英子

【新原】

親族 故 相良 三郎
故 良 一令

【尾浦第二】

親族 故 大津 寛市
故 津 泰子

【石ヶ崎】

親族 故 芥田 由美子
故 芥 英明

【本町】

親族 故 大淵 勲
故 淵 一

【ゆうひが丘】

親族 故 吉田 英雄
故 田 泰子

【神幸】

親族 故 西岡 愛子
故 岡 照二

【桑野】

親族 故 榎 捷子
故 榎 啓一

【平山】

親族 故 平塚 清一
故 塚 孝一

【飯田】

親族 故 永島 シメ子
故 島 猛

【枝坂】

親族 故 永田 正昭
故 田 正雄

【西岩崎】

親族 故 中村 芳雄
故 村 スエコ

【平東】

親族 故 古江 タミ子
故 江 弘之

【鴨生第二】

親族 故 古岡 一夫
故 杉 岡寿子

【藤見台】

親族 故 石川 智恵子
故 川 紀子

【山野第一】

親族 故 北島 ハツ子
故 島 ヤス子

【漆生東】

親族 故 北島 ヤス子
故 島 ハツ子

【小野谷】

親族 故 林田 作実
故 林 田作

【下益】

親族 故 長濱 徳子
故 濱 昌弘

【嘉穂才田】

親族 故 川原田 寿史
故 原 政之

【中益】

親族 故 真崎 中
故 崎 恵美子

【上西郷】

親族 故 大谷 勝憲
故 谷 初江

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同

【子育てリユース】

山野第二 西村 優起
鴨生第一 柳迫 里美
下白井西 坂本さつき
上白井 和田 友香
上九郎原 久家 梢
上 田中 陽子
飯塚市 内藤 寿枝
飯塚市 廣瀬 陽子
飯塚市 小野 聡子

【アルミ缶】

鴨生北町 矢野キサ子
漆生南部 匿 名
下白井東 匿 名

【リングプル】

山野第二 古賀 絹江
上白井下 仲島 幸枝
石ヶ崎 渡邊美千代
古河 甲斐 良子
熊ヶ畑第二 樋口 蓮
熊ヶ畑第二 樋口 想
熊ヶ畑第二 樋口 陽樹
木城 栗原 伊織
西川 溝口恵以子
上西郷 有田 和也
下西郷 小西 一美
牛隈 匿 名
山田手話の会 匿 名
グラントベルズ飯塚 匿 名

【古切手】

漆生東 北島ヤス子
山野第二 古賀 絹江
中山田上 宮原小夜子
中山田下 小西 一美
牛隈 匿 名
市内 匿 名
(有)ロッキージェクスプレス 匿 名
嘉麻市人権同和对策課 匿 名
福岡銀行稲築支店 匿 名

【使用済テレカ】

中山田上 宮原小夜子
中益 浦田 美香
牛隈 匿 名

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています
会員として、次の方々にご
加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます)
6月1日～6月30日受付分

【新山野】山田富美枝
【漆生南部】山崎敏美、小山信
子(二口)、藤原銷好子、山田恵、
中村妙子、東村芳枝、長谷川
康典、西森芙美子、浜田和義、
宇野孝道、篠原信明、神崎孝志、
小林喜久也、白石久美子、大
野順子、坂本真弓、坂井潤一、
上田由美、佐伯正男、梅野俊宏、
田中勝己

【枝坂】山口俊男
【稲築才田】藤内辰美、富崎静
江、北口修、徳永シゲオ、井上
国光、森川ふくえ、山本公一、
西野鶴夫、長嶋フミ、松尾ヤ
シミ、茶屋芳輝、江川ハツミ、
野見山優、吉浦孝二、長町カ
メ子、福田卓也、東小野智、野
見山清隆、高鍋厚、長沼ヒナ子、
大津テル子、桑野英俊、曾我
部美枝子、白石ツタエ、茅野
廉平、兵道和世、片丘末喜、松
尾久士、松尾博昭、正池健治郎、
大山博之、谷口重次、山本虎彦、
大山邦夫、野崎静子、大山喜秀、

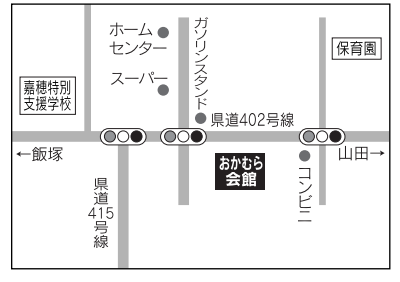
- 大木徳雄、大木国利、大木貞男、木下国光、奥迫文男、奥迫フジ子、向井愛子、浅田スミ子、柳田シズ、松尾洋子
- 〔鴨生第一〕柳迫里美
- 〔鴨生第二〕岩本幸男
- 〔上白井上〕坂田雅量、坂田マズ子
- 〔飯田〕坂口陸海、高原綾子
- 〔上白井下〕仲島隆生
- 〔出川〕頼金豊子
- 〔平山〕末次昭枝
- 〔中央〕手島トメ子、手島晴海
- 〔木城〕上野恵美
- 〔西川〕古賀佐智子
- 〔さくらが丘〕鬼丸忠志
- 〔昭和〕隈元シゲ子、大塚軍治、矢野ヒトミ、大久保猛彦、下田勢四郎、明石ミサヲ、竹森笑美子、下田伸三郎
- 〔三菱第一〕中村民子
- 〔神幸〕松岡宏明、渡辺純一、松岡俊吉、松岡美知子、松岡敦子、樋口毅、西岡愛子、小山英昭、大塚ハナエ、渡辺利子、村上曙生、日高スミエ、日高秋憲、松岡一豊、松岡サト子、塚本真弓、羽井百合子、植上礼子、井上政子、井上大典、伊藤金造、池田カズコ、長与泰三、村上フクエ
- 〔本町〕松岡寛文
- 〔大橋〕深町健一郎、明石フサエ、藤田キミ子、原治子、松岡保、溝口良章、溝口悦子、乾繁夫、川原太郎、森田保、浅野隆雄、熊本勝美、武田ハマ、徳原愛子、吉岡正男、西野フミ子、田中正子、大塚精肉店(三口)、手塚理容店、小島齒科
- 〔三菱第二〕岡島国子
- 〔尾浦第一〕宮本律子、平田一藤、野上ツギ子、中村道彦、中西ふくよ、友松文子、櫻井潔、大塚喜久松、大津弘子、瓜生功、中西絹代、青井志磨子
- 〔原町〕松井弘憲
- 〔蛭子〕大田建設
- 〔芥田〕溝口ミチヨ、大野エイ子、山本美知子
- 〔千手〕福本瞳、大屋トキハ、坂口シズカ、佐藤由美子
- 〔嘉穂才田〕田中サツキ、棚町百江、田中百合子、有吉フサヨ
- 〔上〕平田文宏、平田幸子
- 〔上牛隈〕上村房子
- 〔下牛隈〕大里厚子、大塚香代子
- 〔牛隈北区〕園田照雄
- 〔桑野〕江藤兆司、江藤律子
- 〔江星〕山本佐一郎

嘉麻市社会福祉協議会指定 **葬祭場紹介** **おかむら葬祭岡村会館** 嘉麻市平1133 ☎(0948)42-4420

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



- 24時間対応いたします。
- 葬儀に関する各種相談承ります。



- 嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭岡村会館を含め、市内に8カ所あります。
- 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
 - きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
 - ひさつね会館……………☎52-0758
 - いすや会館……………☎57-4444
 - セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
 - かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
 - 善光会館 稲築会場……………☎83-5000



▲自宅の和室をイメージした中ホールです。(最大50名程度収容可能) 最大200名収容可能な大ホールもあります。



▼葬儀式場としてもご利用できる控入室です。(14畳)

▲広々としたロビーです。各種仏具販売もしております。

9月の総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申し込みください。

法律相談

と き: **9月1日(木)** 13:00~16:00
と ころ: **山田ふれあいハウス**

と き: **9月15日(木)** 13:00~16:00
と ころ: **稲築住民センター**

心配ごと相談

と き: **9月14日(水)** 13:00~15:00
と ころ: **稲築住民センター**

と き: **9月28日(水)** 13:00~15:00
と ころ: **稲築住民センター**

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

ふるさとへの恩返し

季節ごとに、ふるさとから荷物が届く。わくわくしながら、子どもと一緒に箱を開ける。子どもは歓声を上げながら、一つずつ物色している。我が家の楽しみの一つだ。

毎回、実家の畑で採れた野菜や、地元

で買った味噌や菓子などが、ぎっしり詰まって送られてくる。母は気のせいだと言うが、野菜は新鮮だし、本当に美味しい！

ふるさとの匂いのするひとつひとつが、懐かしく、いとおしく感じる。孫やひ孫に食べさせようと畑の手入れをしている祖父の顔や、喜ばせようと色んな物を詰めてくれる母の顔が目には浮かぶ。本当にありがたい。

そして、ふるさとは、キラキラした思い出がたくさん詰まっている。実家では、祖父母がぶどうを作っていた。ぶどうの剪定や、ビニールのトンネル掛け、出荷の準備など、忙しい時は、家族総出で行っていた。そんな家族の思い出はもちろん、校庭のけやきのふもとで、来る日も来る日も遊んだ日々、青々とした田んぼ沿いを友と帰る暑い夏の日……ふるさとの思い出は尽きない。それらは、私の心をほぐし、温めてくれる。

ふるさとから離れている分、寂しさも、もどかしさもあるけれど、離れているからこそ、ふるさとをかけがえのないものと感じる気持ちには強いのではないか。大切な家族、馴染み深い山や田畑の風景は、私を見守ってくれて、いつでも帰っておいでと言ってるみたい。私はふるさとから元気をもらう。

母親になった今、今後は私が子ども達のふるさとを築いていく番。温かく、安心できる場所を作っていきたい。ふるさとへの恩返しは、「ふるさと」を子どもへ伝えていくことも一つなのかなと最近思う。

ふるさとの家族の状況は、当たり前だけれど、変わっていく。幸せなことがばかりでなく、悲しいこともある。離れていても、何か私に出来ることはないかな……。家族への恩返しも、まだ始まったばかり。試行錯誤しながら、ただひたすら家族の幸せを願っている。



神奈川県横浜市在住
芳村聡子(旧姓 満口)さん(32歳)
芥田出身

福祉のまちづくりのために

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさまとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひ、ご加入ください。

今回は、みなさまからの会費で実施している「子育て用品リユースセンター事業」を紹介します。

碓井千歳会館に設置している子育て用品リユースセンターは、ご家庭で使わなくなった子育て用品などを持ち寄り、また、必要としている方が自由に持ち帰ることができます。昨年度は、子ども服やおもちゃ、中学・高校の制服など、合計5,015点をお寄せいただき、2,646点がリユースされています。

本会では、このセンター事業を通じて、子育て支援の輪を広げていくことをめざしています。

■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 1,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

三井炭鉱が最盛期の頃、平東の三井山野公園の頂上には、町内で唯一の動物園があり、写真からもにぎわいの様子が伝わります。昭和32年5月に完成したこの動物園には、熊や猿、たぬき、とんび、鳩などがいました。町外からの来客もあり、春には花見、夏には花火大会の観賞をすることもあったそうで、大人の憩いの場として、また子どもの遊び場として、多くの人に親しまれていました。

当時をよく知る藤田義輝さん(平東)に話を伺うと、動物園は家から歩いて5分程のところであり、無料で自由に入出入りができたので、よく遊びに行っていたと話されます。なかでも、一度だけ管理人の方にエサの準備をさせてもらったことは今でも鮮明に憶えているそうです。



この跡地には現在もお、動物が入っていた檻がいくつか残っています。そこは静けさに包まれて少し寂しさを感じさせますが、大きな檻を見ると、動物がいた頃の様子が目に浮かびます。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)

